

第79回ボランティア広場概要  
「PowerPoint 講座」

1. 日 時：令和6年3月2日（土）14時～16時  
令和6年3月23日（土）14時～16時
2. 場 所：かわぐち市民パートナーステーション 会議室1～3
3. 講 師：一般社団法人大人の小学校 山城 純子 氏
4. 参加者数：3月2日 14名（団体所属8名、一般市民6名）  
3月23日 11名（団体所属6名、一般市民5名）

5. 要 旨

パワーポイントの技術的なことを大まかに紹介する。事前配布している「はじめまして私についてお話しします」という自己紹介のパワーポイントを作成してもらおう。なぜ自己紹介かというと、今後の活動の中で団体紹介や自身について発表する場が多いためである。その時のパワーポイントを作成する際に、はじめに今回作成するような自己紹介があると、本題の一助になるためである。さらに、ここで使用する技術的な行程もプラスアルファで学んでいただきたい。

まずは、どのように動かすのかを見ていただきたい（パワーポイント画面にて操作説明）。スライド「生い立ち」でのポイントは表が挿入できるということである。スライド「好きなこと」についてはスマートアウトという機能を使って作成している。今回の目的はこのようなパワーポイントを作るということをはじめに紹介させていただいた。

レジメを見ていただきたい。このレジメには細かい手順を記載しているので手順書のように使用していただきたい。また、各部の名称を1から2頁目に記載させていただいた。専門書等を読んでいて分からない言葉が出てきてしまうと次の工程に進めないことが多いため、新しい言葉に耳慣れいただくことで調べやすくなることを狙いとしている。もう一つの「スライドへの入力例」も見ながら使用していただきたい。

今回は6枚のページを作成していく。まずは、文字の入力をしていただくのだが、使用するパソコンやパワーポイントのバージョンによって見え方が異なる。そのためテキストを購入する際は自身のパソコンのバージョンを確認してから購入することが重要である。今回は、最新のバージョンに合わせたテキストを作成している。

早速パワーポイントを立ち上げていただきたい。今回は「新しいプレゼンテーション」を使用していく。配布しているUSBデータの中に完成例として二つ入っている。一つ目は冒頭で紹介した「自己紹介2」、そして「自己紹介1」これはアニメーションがないものである。これだけでもプレゼンは可能である。しかし、パワーポイントの醍醐味は動くところであるため、アニメーションまで紹介をしていく。

(以降、パワーポイント画面にて操作説明)

パワーポイントの作成で大事なことは、場面展開があるときは異なるものに変える程度にしていいただきたい。動かし方や多くの写真を入れる等、知っていることを全て入れたくなってしまうが、鬱陶しく感じて見ていられなくなるためである。また、文字が少ない方が見やすい。理由は、文字があると読んでしまうため、話している内容を聞いてくれないためである。そのため、項目を出して詳細を語るときは自分の言葉で表現した方がよい。資料として送るページは別に作成しておいて、プレゼンの際は隠しページにするとよい。プレゼンも大事だが、話し方や抑揚の付け方のほうが大事である。単調になってしまうと長く感じてしまうためである。資料作成の際は、項目と詳細は分けたほうがよい。理由は、一緒にしてしまうと、話を聞かず、読む方に徹してしまうからである。

今回は12時間の内容を2時間とし、縮小した講義内容となっているため、基本的なことをお伝えした。最終的には完成例を配布しているため、やり方を忘れてしまった際に参考に見返して、確認しながら作成してほしい。

Q. 動画を入れる場合はどうすればよいか。

A. 「挿入」から動画を入れることができる。また、オーディオも入れることが可能である。

第79回ボランティア広場の様子

